

主な取り組み

希望あふれる人間都市」の実現に向けて
ものを紹介します。



check 03

地域経済の活力の創造

若年者雇用促進費 1,363 万円

長崎での若者の地元就職および定着を促進するために、地元企業の魅力を発信するための本やテレビ番組を制作し、県内外の大学などに広めたほか、福岡市で企業研究会を開催しました。また、学生の就職活動を支える保護者を対象とした就職活動セミナーを開催しました。

市産品の販路拡大に取り組む 地域商社の育成・支援 1,534 万円

市内小規模事業者の魅力ある商品の域外への販路開拓・拡大や、事業者に対する商品開発の支援などに取り組む地域商社2社の活動を支援しました。

check 04

環境との調和

三京クリーンランド埋立処分場の 維持管理 1 億 4,560 万円

三京クリーンランド埋立処分場の維持管理費のうち、66 万円で長崎大学と共同研究を行い、遮光がアオコ繁殖抑制(水質改善)に効果があることが解りました。今後、この結果を基に雨水調整池の水質改善を図ってまいります。

check 01

個性を活かした交流の拡大

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン 関連遺産」を世界遺産に 3,233 万円

長崎に2つ目の世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が誕生し、記念セレモニーを開催しました。また、構成資産などを適切に保存するための調査や、所有者が実施した構成要素の整備に対し支援を行いました。

九州新幹線西九州ルート の建設 5 億 7,817 万円

2022 年度の九州新幹線西九州ルート開業に向け、長崎駅やその周辺で長崎駅高架橋、新長崎トンネルなどの工事を進めました。

check 02

平和の発信と世界への貢献

クスノキ基金(積立金) 1,918 万円

福山雅治さんの呼び掛けによる被爆クスノキの保存に対する募金が寄附されたことを契機に「クスノキ基金」を設置し、被爆樹木の保存整備を推進しました。(平成30年度は6本、整備にかかる補助額375万円のうち94万円に活用)

平和祈念像を補修 1,285 万円

被爆75周年を前に、約20年ぶりに平和祈念像の劣化した塗装などの補修を行いました。



平成30年度の

市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」
テーマを掲げ、取り組みました。ここでは主な



check 07

ともに支え合い、いきいきと
暮らせる地域社会の実現

通院に係る子ども医療費の助成を
中学校卒業までに拡大
4,285万円

子どもの医療費助成において、平成30年10月に通院に係る助成対象を中学生まで拡大しました。自己負担額は、1医療機関あたり1日800円、ひと月の上限は1,600円です。(調剤薬局は、負担なし)

check 08

多様な主体による地域経営

地域コミュニティの推進
1,414万円

地域コミュニティを支えるしくみをモデル事業として6地区において実施し、しくみの有効性や市の支援のあり方を、具体的に検証しました。令和元年度からこのしくみは本格実施され、令和元年11月1日時点で、13地区で地域コミュニティ連絡協議会が設立されています。

check 05

安全・安心で
快適な暮らしの実現

防災行政無線のデジタル化
2億1,977万円

防災行政無線のデジタル化整備工事に着手し、令和2年度の運用開始に向けてアナログ方式からデジタル方式への更新整備を進めています。

新市庁舎の建設 3億7,465万円

令和4年度中の新庁舎完成に向けて、実施設計を策定しました。また、建設予定地において埋蔵文化財の調査を行いました。

check 06

創造的で豊かな心の育成

空調設備整備(小学校・中学校)
6億8,682万円

現地調査や空調整備の設計を行い、空調の設置工事を進めました。なお、令和元年9月をもって、建て替えに伴う新設校を除く全小・中学校の空調を供用開始しています。

発達障害への支援を強化
329万円

発達障害のある子どもや発達が気になる子どもを育てる保護者が気軽に集い、交流・相談などができるよう、発達障害支援に特化した子育て支援センター「にじのくに」(三芳町)を平成30年10月に開設しました。

